

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	浜松市		代表者名	鈴木康友
担当者部署	企画調整部		連絡先電話番号	053-457-2021
担当者役職	課長	担当者氏名	水谷供子	連絡先E-mail
住所	430-8652 静岡県浜松市中区元城町103-2			

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	下山 紗代子	石塚 清香
評価	大変よい	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	<ul style="list-style-type: none"> 匿名のオンライン質問ツール「Sli.do」を用いて相談を受け付け、下山氏には、オープンデータについてのアドバイスを、石塚氏にはサービスデザインについてのアドバイスをそれぞれいただき、そうした概念に疎い参加者にも伝わるように丁寧に回答をいただいた。 参加者からは、非常に多くの相談が寄せられ、参加者が高い関心を持って相談会に臨んでいたことを裏付けていた。 	
アドバイザーへの要望事項	特になし。	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年12月22日	15時00分	17時00分		120
3-2. 派遣場所	会場名	浜松市地域情報センター		最寄駅	浜松駅
	所在地	浜松市中区中央1丁目12-7		最寄駅からの交通手段	徒歩
	派遣形態	支援・助言(実地)			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	各課広報担当職員	111人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	<p><報告書1日目(打ち合わせ時)と同様です> 参加者のオープンデータに関する知識・技能は個人差があるため、特にそれらに関心のない参加者に対してどのようにその大切さを伝え、自身の課の業務のオープンデータ化やデータ利活用による業務の効率化に取り組んでもらうか。</p>	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	<p><報告書1日目(打ち合わせ時)と同様です> オープンデータの重要性、有用性について啓発していただき、各課が保有する情報のオープンデータ化やデータの利活用による業務効率化が促されることで、市職員全体のオープンデータに関する意識レベルの底上げを図るとともに市民サービスの向上につなげていく。</p>	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	匿名のオンライン質問ツール「Sli.do」を用いて相談を受け付け、下山氏には、情報公開によるリスクに対する不安やメリットが想像できないといった職員への悩みに対するアドバイスを、石塚氏にはサービスデザインをする上での他部署との連携方法などについてのアドバイスを、それぞれ事例を交えてご紹介いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	Sli.doには「時間が無い」「オープンデータ化の意義が分からない」と言った趣旨の相談をしている参加者もいたが、今の行いが将来的に自分に返ってくるといった観点や、オープンデータの利活用による具体的なインセンティブについて事例付きでご紹介いただいたことで、「事業の課題・問題点」の項目で述べたような、オープンデータやサービスデザインに関心の薄い参加者の意識改善につながったものと考え。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
	定量的な成果物は無いが、今回の相談会により職員の意識の醸成が図られ、利用者目線に立ったオープンデータの公開などの取り組みが、より具体的なものとなった。	

改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	相談会の内容に、解決されなかった内容・持ち越しとなった内容等は無かった。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援のあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 匿名のオンライン質問ツール「Slido」を使用したことで、リアルタイムで参加者の意見を聴取することができたため、アンケートは行わなかった。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	<報告書1日目(打ち合わせ時)と同様です> 担当職員は年度ごとに代わるため、継続した相談会の開催をすることで、より多くの職員がデータを積極的に活用できるようになり、利用者目線に立ったオープンデータの公開やサービス構築が可能となる。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

